

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-530698 (P2004-530698A)

【公表日】平成 16 年 10 月 7 日 (2004.10.7)

【年通号数】公開・登録公報 2004-039

【出願番号】特願 2002-591017 (P2002-591017)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 35/78

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 43/00

【F I】

A 6 1 K 35/78 T

A 6 1 K 35/78 C

A 6 1 K 35/78 N

A 6 1 K 35/78 Q

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 17 日 (2005.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

植物種エキナセア・プルブレア (*Echinacea purpurea*) 及びサンブクス・ニグラ (*Sambucus nigra*) の抽出物、並びにハイペリカム・ペルホラタム (*Hypericum perforatum*)、コミホーラ・モルモル (*Commiphora molmol*) 及びセンテラ・アジアティカ (*Centella asiatica*) からなる群より選択される少なくとも 1 種のさらなる植物の抽出物を含む治療用組成物。

【請求項 2】

少なくとも 1 種のさらなる植物の抽出物が植物種ハイペリカム・ペルホラタム及びコミホーラ・モルモルの抽出物である、請求項 1 記載の治療用組成物。

【請求項 3】

抗ウイルス組成物として使用するための、請求項 2 記載の治療用組成物。

【請求項 4】

ウンカリア・トメントーサ (*Uncaria tomentosa*)、ティムス・ブルガリス (*Thymus vulgaris*)、マトリカリア・レキュティータ (*Matricaria recutita*)、サリックス・アルバ (*Salix alba*)、カレンデュラ・オフィシナリス (*Calendula officinalis*)、ウスネア・バルバータ (*Usnea barbata*)、リグスティカム・ポルテリ-オシャ (*Ligusticum porterii-oshia*)、ガウルテリア・プロクンベンス (*Gaultheria procumbens*)、カメリア・シネンシス (*Camellia sinensis*)、ワッキニウム・ミルティラス (*Vaccinium myrtillus*)、メリッサ・オフィシナリス (*Melissa officinalis*)、アリウム・サティバム (*Allium sativum*)、カメリア・シネンシス (*Camellia sinensis*) 及びクラメリア・トリアンドラ (*Krameria triandra*) からなる群より選択される植物の抽出物をさらに含む、請求項 3 記載の抗ウイルス組成物。

【請求項 5】

前記組成物が、植物種エキナセア・プルブレア、サンブクス・ニグラ、ハイペリカム・ペルホラタム、コミホーラ・モルモル及びウンカリア・トメントーサの抽出物を含む、請求項 4 記載の抗ウイルス組成物。

【請求項 6】

口腔損傷の治療に使用するための、請求項 3 記載の抗ウイルス組成物。

【請求項 7】

口周囲損傷の治療に使用するための、請求項 3 記載の抗ウイルス組成物。

【請求項 8】

生殖器損傷の治療に使用するための、請求項 3 記載の抗ウイルス組成物。

【請求項 9】

少なくとも 1 種のさらなる植物の抽出物が植物種センテラ・アジアティカの抽出物である、請求項 1 記載の治療用組成物。

【請求項 10】

口腔粘膜の疾患の治療に使用するための、請求項 9 記載の治療用組成物。

【請求項 11】

肛門粘膜の疾患の治療に使用するための、請求項 9 記載の治療用組成物。

【請求項 12】

ウンカリア・トメントーサ、ティムス・ブルガリス、マトリカリア・レキュティータ、サリックス・アルバ、カレンデュラ・オフィシナリス、ウスネア・バルバータ、リグスティカム・ボルテリ・オシャ、ガウルテリア・プロクンペンス、カメリア・シネンシス、ワッキニウム・ミルティラス、メリッサ・オフィシナリス、アリウム・サティバム、カメリア・シネンシス及びクラメリア・トリアンドラからなる群より選択される植物の抽出物をさらに含む、請求項 10 又は 11 記載の治療用組成物。

【請求項 13】

治療対象の口腔粘膜の疾患が、歯周疾患、歯周炎、アフタ性潰瘍、機械的損傷、熱損傷、扁平苔癬、水疱性類天疱瘡、尋常性天疱瘡及び疱疹状皮膚炎、口角炎並びに再発性ヘルペスからなる群より選択される、請求項 10 記載の治療用組成物。

【請求項 14】

治療対象の肛門粘膜の疾患が、肛門裂傷、痔及び特定されない過敏からなる群より選択される、請求項 11 記載の治療用組成物。

【請求項 15】

1 種以上のマトリックスメタロプロテイナーゼの阻害のための、請求項 9 記載の治療用組成物。

【請求項 16】

阻害対象の 1 種以上のマトリックスメタロプロテイナーゼがマトリックスメタロプロテイナーゼ 1 ~ 9 からなる群より選択される、請求項 15 記載の治療用組成物。

【請求項 17】

阻害されるマトリックスメタロプロテイナーゼがマトリックスメタロプロテイナーゼのサブクラス 1、2、8 及び 9 である、請求項 16 記載の治療用組成物。

【請求項 18】

阻害されるマトリックスメタロプロテイナーゼがサブクラス 2 のものである、請求項 17 記載の治療用組成物。

【請求項 19】

歯周疾患及びアフタ性潰瘍からなる群より選択される口腔粘膜の疾患の治療に使用するための、請求項 15 ~ 18 のいずれか 1 項に記載の治療用組成物。

【請求項 20】

医薬の製造における、植物種エキナセア・プルブレア及びサンブクス・ニグラの抽出物、並びにハイペリカム・ペルホラタム、コミホーラ・モルモル及びセンテラ・アジアティカからなる群より選択される少なくとも 1 種のさらなる植物種の抽出物の組み合わせの使

用。

【請求項 2 1】

少なくとも 1 種のさらなる植物の抽出物がハイペリカム・ペルホラタム及びコミホーラ・モルモルの抽出物である、請求項 2 0 に記載の植物抽出物の組み合わせの使用。

【請求項 2 2】

抗ウイルス薬の製造における、請求項 2 1 記載の植物抽出物の組み合わせの使用。

【請求項 2 3】

植物抽出物の組み合わせにさらにウンカリア・トメントーサ、ティムス・ブルガリス、マトリカリア・レキュティータ、サリックス・アルバ、カレンデュラ・オフィシナリス、ウスネア・バルバータ、リグスティカム・ポルテリ・オシャ、ガウルテリア・プロクンペンス、カメリア・シネンシス、ワッキニウム・ミルティラス、メリッサ・オフィシナリス、アリウム・サティバム、カメリア・シネンシス及びクラメリア・トリアンドラからなる群より選択される植物の抽出物が追加される、請求項 2 2 記載の使用。

【請求項 2 4】

前記組み合わせが植物種エキナセア・プルプレア、サンブクス・ニグラ、ハイペリカム・ペルホラタム、コミホーラ・モルモル及びウンカリア・トメントーサの抽出物を含む、請求項 2 3 記載の植物抽出物の組み合わせの使用。

【請求項 2 5】

少なくとも 1 種のさらなる植物の抽出物がセンテラ・アジアティカの抽出物である、請求項 2 0 記載の植物抽出物の組み合わせの使用。

【請求項 2 6】

口腔粘膜の疾患の治療のための医薬の製造における、請求項 2 5 記載の植物抽出物の組み合わせの使用。

【請求項 2 7】

治療対象の口腔粘膜の疾患が、歯周疾患、歯周炎、アフタ性潰瘍、機械的損傷、熱損傷、扁平苔癬、水疱性類天疱瘡、尋常性天疱瘡、疱疹状皮膚炎、口角炎及び再発性ヘルペスからなる群より選択される、請求項 2 6 記載の使用。

【請求項 2 8】

肛門粘膜の疾患の治療のための医薬の製造における、請求項 2 5 記載の植物抽出物の組み合わせの使用。

【請求項 2 9】

治療対象の肛門粘膜の疾患が、肛門裂傷、痔及び特定されない過敏からなる群より選択される、請求項 2 8 記載の使用。

【請求項 3 0】

1 種以上のマトリックスメタロプロテイナーゼの阻害のための医薬の製造における、請求項 2 5 記載の使用。

【請求項 3 1】

阻害対象の 1 種以上のマトリックスメタロプロテイナーゼがマトリックスメタロプロテイナーゼ 1 ~ 9 からなる群より選択される、請求項 3 0 記載の使用。

【請求項 3 2】

阻害対象の 1 種以上のマトリックスメタロプロテイナーゼがマトリックスメタロプロテイナーゼ 1、2、8 及び 9 からなる群より選択される、請求項 3 1 記載の使用。

【請求項 3 3】

1 種以上のメタロプロテイナーゼの阻害を用いて歯周疾患及びアフタ性潰瘍からなる群より選択される口腔粘膜の疾患を治療する、医薬の製造における請求項 3 0 ~ 3 2 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 3 4】

植物抽出物の組み合わせにさらにゴツ・コラ (Gotu kola)、ウンカリア・トメントーサ、ティムス・ブルガリス、マトリカリア・レキュティータ、サリックス・アルバ、カレンデュラ・オフィシナリス、ウスネア・バルバータ、リグスティカム・ポルテリ・オシ

ヤ、ガウルテリア・プロクンペンス、カメリア・シネンシス、ワッキニウム・ミルティラス、メリッサ・オフィシナリス、アリウム・サティバム、カメリア・シネンシス及びクラメリア・トリアンドラからなる群より選択される植物の抽出物が追加される、請求項 26、28 及び 30～33 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 35】

医薬として使用するための、植物種エキナセア・プルプレア及びサンブクス・ニグラの抽出物、並びにハイペリカム・ペルホラタム、コミホーラ・モルモル及びセンテラ・アジアティカからなる群より選択される少なくとも 1 種のさらなる植物種の抽出物の組み合わせ。

【請求項 36】

少なくとも 1 種のさらなる植物の抽出物がハイペリカム・ペルホラタム及びコミホーラ・モルモルの抽出物である、請求項 35 記載の抽出物の組み合わせ。

【請求項 37】

抗ウイルス薬として使用するための、請求項 36 記載の抽出物の組み合わせ。

【請求項 38】

前記抽出物にさらにウンカリア・トメントーサ、ティムス・ブルガリス、マトリカリア・レキュティータ、サリックス・アルバ、カレンデュラ・オフィシナリス、ウスネア・バルバータ、リグスティカム・ポルテリ・オシャ、ガウルテリア・プロクンペンス、カメリア・シネンシス、ワッキニウム・ミルティラス、メリッサ・オフィシナリス、アリウム・サティバム、カメリア・シネンシス及びクラメリア・トリアンドラからなる群より選択される植物の抽出物が追加される、請求項 37 記載の使用のための抽出物の組み合わせ。

【請求項 39】

前記組み合わせが、植物種エキナセア・プルプレア、サンブクス・ニグラ、ハイペリカム・ペルホラタム、コミホーラ・モルモル及びウンカリア・トメントーサの抽出物を含む、請求項 38 記載の使用のための抽出物の組み合わせ。

【請求項 40】

少なくとも 1 種のさらなる植物の抽出物がセンテラ・アジアティカの抽出物である、請求項 35 記載の使用のための抽出物の組み合わせ。

【請求項 41】

口腔粘膜の疾患の治療のための医薬として使用するための、請求項 40 記載の抽出物の組み合わせ。

【請求項 42】

治療対象の口腔粘膜の疾患が、歯周疾患、歯肉炎、アフタ性潰瘍、機械的外傷、熱損傷、扁平苔癬、水疱性類天疱瘡、尋常性天疱瘡、疱疹状皮膚炎、口角炎、及び再発性ヘルペスからなる群より選択される、請求項 41 記載の使用のための抽出物の組み合わせ。

【請求項 43】

肛門粘膜の疾患の治療のための医薬として使用するための、請求項 40 記載の抽出物の組み合わせ。

【請求項 44】

治療対象の肛門粘膜の疾患が、肛門裂傷、痔及び特定されない過敏からなる群より選択される、請求項 43 記載の使用のための抽出物の組み合わせ。

【請求項 45】

1 種以上のマトリックスメタロプロテイナーゼを阻害するための医薬として使用するための、請求項 40 記載の抽出物の組み合わせ。

【請求項 46】

阻害対象の 1 種以上のマトリックスメタロプロテイナーゼがマトリックスメタロプロテイナーゼ 1～9 からなる群より選択される、請求項 45 記載の使用のための抽出物の組み合わせ。

【請求項 47】

阻害対象の１種以上のマトリックスメタロプロテイナーゼがマトリックスメタロプロテイナーゼ１、２、８及び９からなる群より選択される、請求項４６記載の使用のための抽出物の組み合わせ。

【請求項４８】

請求項４５～４７のいずれか１項に記載の医薬として使用するための請求項４０に定義される抽出物の組み合わせであって、前記医薬が歯周疾患及びアフタ性潰瘍からなる群より選択される口腔粘膜の疾患の治療に使用される、上記抽出物の組み合わせ。

【請求項４９】

前記抽出物にさらにウンカリア・トメントーサ、ティムス・ブルガリス、マトリカリア・レキュティータ、サリックス・アルバ、カレンデュラ・オフィシナリス、ウスネア・バルバータ、リグスティカム・ポルテリ・オシャ、ガウルテリア・プロクンペンス、カメリア・シネンシス、ワッキニウム・ミルティラス、メリッサ・オフィシナリス、アリウム・サティバム、カメリア・シネンシス及びクラメリア・トリアンドラからなる群より選択される植物の抽出物が追加される、請求項４１、４３及び４５～４８のいずれか１項に記載の使用のための抽出物の組み合わせ。

【請求項５０】

*in vitro*で１種以上のマトリックスメタロプロテイナーゼを阻害する方法であって、植物種エキナセア・プルプレア、サンブクス・ニグラ及びセンテラ・アジアティカの抽出物の有効量の混合物と該１種以上のマトリックスメタロプロテイナーゼとを接触させることを含む、上記方法。

【請求項５１】

阻害対象の１種以上のマトリックスメタロプロテイナーゼがマトリックスメタロプロテイナーゼ１～９からなる群より選択される、請求項５０記載の方法。

【請求項５２】

阻害対象の１種以上のマトリックスメタロプロテイナーゼがマトリックスメタロプロテイナーゼ１、２、８及び９からなる群より選択される、請求項５１記載の方法。